



知ろう
私たちの地球

地質の日
オンライン一般講演会



講演会ページ

日本地質学の父 エドムント・ナウマン

お雇い外国人教師ナウマンは
フォッサマグナに挑んだ！

矢島道子 東京都立大学非常勤講師

私たちのよく使う「フォッサマグナ」「中央構造線」「内帯/外帯」などの言葉は 1875 年に来日したナウマンが提唱しました。帰国した 1885 年に現在と遜色ない日本の地質図を発表したナウマンは、どうして短時日にこの偉業を達成できたのでしょうか。

1. 13:35-14:35

ナウマンと佐川の人々

森 浩嗣氏 佐川地質館

「緑なす山々…」で始まる書をナウマンが記した地・佐川町。この町では、彼のゆかりを各所で見ることができます。また、ナウマンに佐川を案内した高知の化石コレクター・外山矯についても併せてご紹介します。

2. 14:45-15:05

ナウマンの研究した ゾウ化石

佐々木猛智氏 東京大学総合研究博物館

ナウマンは 1881 年に日本のゾウ化石についての最初の論文を出版しました。ゾウ化石を含む彼の研究標本は現在東京大学総合研究博物館に保存されており、一部を展示公開しています。関連する収蔵資料について紹介します。

3. 15:05-15:25

火の島に立つ

ナウマンが見た躍動の伊豆大島

臼井里佳氏 伊豆大島ジオパーク推進委員会事務局

1877 年、ナウマンが訪れた伊豆大島は、安永の大噴火から約 100 年が経ち、なおも活発に噴火を繰り返す御神火の島でした。若き地質学者はこの躍動の中に何を見たのか。現代の風景と重ねながら、伊豆大島の魅力をご紹介します。

4. 15:25-15:45



ナウマン来日 150 年 その功績と足跡を辿る

2025 年 5 月 10 日 (土) PM 1:30-4:00

開催方法：YouTube ライブ配信 どなたでも視聴可能、申込不要、無料

<https://www.youtube.com/live/BWjqEgzDNuo>

主催：一般社団法人 日本地質学会

日本地質学会では、広く一般に地質学の魅力と重要性を知っていただくため、毎年、5月10日の「地質の日」を記念した様々な行事を実施しています。

